

工業用水道機械電気設備更新工事（R 7）

特 記 仕 様 書

令和 7 年度

目 次

第 1 章 総則

第 1 条	適用範囲
第 2 条	工事箇所
第 3 条	適用基準
第 4 条	協議
第 5 条	承認図の提出
第 6 条	工事工程表
第 7 条	検査及び試験
第 8 条	完成図書の提出
第 9 条	保証

第 2 章 機械設備更新工事

第 1 節	概 要
第 2 節	機器仕様

第 3 章 電気設備更新工事

第 1 節	概 要
第 2 節	機器仕様

第 1 章

総 則

第1条 適用範囲

本仕様書は、工業用水道機械電気設備更新工事(R7)に適用するものである。
場内所定の構造物部分に合わせて、機器の設計・製作並びに付属配線工事を行ない、総合試運転まで行なうものとする。

第2条 工事箇所

能美市一円

第3条 適用基準

本仕様書に記載のない事項は次の規格及び仕様書によるものとする。

JWWA(日本水道協会規格)

JIS(日本工業規格)

JEC(電気規格調査会標準規格)

JEM(日本電気工業会標準規格)

電気設備技術基準

内線規格(電気技術基準調査会編)

その他現行規格、法令

第4条 協議

本使用書及び設計図面中に明示されていないもの、あるいは脱漏または交合しない際は、監督員と協議の上決定すること。

現場の納まり取り合わせ等の関係によって生ずる機器類の取付位置、取付方法等の軽微な変更は、監督員の指示に従って受注金額範囲内で施工に従事すること。

第5条 承諾図の提出

受注者は、契約後十分な設計打合せを行い、詳細な実施設計図を作成し、承諾を得るための提出図は下記を標準とし、各2部提出のこと。

1. 一般配置図
2. 機器据付図
3. 機器寸法図
4. 配線図
5. 各種結線図
6. 使用メーカー一覧
7. その他指定するもの

第 6 条 工事工程表

受注者は工程表を提出し、監督員の承認を受けるものとする。

第 7 条 監査及び試験

検査及び各試験は、監督員の指示により行うものとし、試験成績書を提出すること。又、検査及び諸官庁立会試験等に要する費用は全て受注者の負担とする。

第 8 条 完成図書の提出

受け渡しに際しては、下記の図書を各 2 部提出するものとする。

1. 一般配管図
2. 機器寸法図
3. 配線図
4. 機器取扱説明書
5. 試験成績表
6. 届出書・許可書
7. その他指定するもの

第 9 条 保 証

本工事の保証期間は、引渡し後 2 ヶ年とする。

受注者の責任に帰すべき設計・製作の不備、材質不良及び工事の不完全に起因する故障については、無償で指示する期間中に修理又は新品と交換すること。

第 2 章

機 械 設 備 更 新 工 事

第1節 概 要

第1条 概 要

既設機器の更新・取替等を行なうもので、現場作業にあたっては工業用水道の供給に支障なきよう十分考慮し、施工に当たること。なお、撤去品については、原則、受注者が処分するものとする。

第2条 工事項目

(1) 根上福島工業用水管理センター	5号水源取水ポンプ更新
(2) 根上福島工業用水管理センター	6号水源取水ポンプ更新
(3) 根上福島工業用水管理センター	12号水源取水ポンプ更新
(4) 辰口寺井工業用水第一	7号水源取水ポンプ更新
(5) 辰口寺井工業用水第二	3号水源取水ポンプ更新
(6) 辰口寺井工業用水第二	4号取水ポンプ逆止弁更新
(7) 辰口寺井工業用水第二	5号取水ポンプ逆止弁更新
(8) 辰口寺井工業用水第二	7号取水ポンプ逆止弁更新

第2節 機器等仕様

- 第1条 根上福島工業用水管理センター 5号水源取水ポンプ更新
1. 概要 経年劣化した取水ポンプを次のとおり更新する。
 2. 数量 1台
 3. 型式 水中深井戸ポンプ
 4. 口径 $\Phi 125$
 5. 取扱液 清水
 6. 吐出量 $2.083\text{m}^3/\text{min}$
 7. 全揚程 26m
 8. 電動機 $15\text{kW} \times 200\text{V}$ 級 $\times 60\text{Hz}$
 9. 主要部材質 羽根車 CAC406 同等品以上
ケーシング FC200 同等品以上
主軸 SUS420J2 同等品以上
 10. 付属品 防水ケーブル $25\text{m} \times 2$

- 第2条 根上福島工業用水管理センター 6号水源取水ポンプ更新
1. 概要 経年劣化した取水ポンプを次のとおり更新する。
 2. 数量 1台
 3. 型式 水中深井戸ポンプ
 4. 口径 $\Phi 125$
 5. 取扱液 清水
 6. 吐出量 $2.083\text{m}^3/\text{min}$
 7. 全揚程 34.6m
 8. 電動機 $18.5\text{kW} \times 200\text{V}$ 級 $\times 60\text{Hz}$
 9. 主要部材質 羽根車 CAC406 同等品以上
ケーシング FC200 同等品以上
主軸 SUS420J2 同等品以上
 10. 付属品 防水ケーブル $70\text{m} \times 2$

- 第3条 根上福島工業用水管理センター 12号水源取水ポンプ更新
1. 概要 経年劣化した取水ポンプを次のとおり更新する。
 2. 数量 1台
 3. 型式 水中深井戸ポンプ

- | | |
|----------|---|
| 4. 口 径 | Φ 1 2 5 |
| 5. 取扱液 | 清水 |
| 6. 吐出量 | 2.1m ³ /min |
| 7. 全揚程 | 32m |
| 8. 電動機 | 18.5kW×200V 級×60H z |
| 9. 主要部材質 | 羽根車 CAC406 同等品以上
ケーシング FC 2 0 0 同等品以上
主軸 SUS 4 2 0 J2 同等品以上 |
| 10. 付属品 | 防水ケーブル 30m×2 |

第 4 条 辰口寺井工業用水第一 7 号水源取水ポンプ更新

- | | |
|----------|---|
| 1. 概 要 | 経年劣化した取水ポンプを次のとおり更新する。 |
| 2. 数 量 | 1 台 |
| 3. 型 式 | 水中深井戸ポンプ |
| 4. 口 径 | Φ 1 5 0 |
| 5. 取扱液 | 清水 |
| 6. 吐出量 | 3.4m ³ /min |
| 7. 全揚程 | 30m |
| 8. 電動機 | 30kW×440V 級×60H z |
| 9. 主要部材質 | 羽根車 CAC406 同等品以上
ケーシング FC 2 0 0 同等品以上
主軸 SUS 4 2 0 J2 同等品以上 |
| 10. 付属品 | 防水ケーブル 60m×2 |

第 5 条 辰口寺井工業用水第二 3 号水源取水ポンプ更新

- | | |
|----------|--|
| 1. 概 要 | 経年劣化した取水ポンプを次のとおり更新する。 |
| 2. 数 量 | 1 台 |
| 3. 型 式 | 水中深井戸ポンプ |
| 4. 口 径 | Φ 1 0 0 |
| 5. 取扱液 | 清水 |
| 6. 吐出量 | 1.39m ³ /min |
| 7. 全揚程 | 37m |
| 8. 電動機 | 15kW×200V 級×60H z |
| 9. 主要部材質 | 羽根車 SCS13 同等品以上
ケーシング SCS13 同等品以上
主軸 SCS13 同等品以上 |
| 10. 付属品 | 防水ケーブル 70m×2 |

- 第6条 辰口寺井工業用水第二 4号取水ポンプ逆止弁更新
1. 概要 経年劣化した逆止弁を次のとおり更新する。
 2. 数量 1台
 3. 型式 急閉式
 4. 口径 $\Phi 150$
 5. フランジ規格 10K
 6. 主要部材質 本体 FC 同等品以上
要部材質 SCS 同等品以上
 7. その他 ナイロンライニングあり

- 第7条 辰口寺井工業用水第二 5号取水ポンプ逆止弁更新
1. 概要 経年劣化した逆止弁を次のとおり更新する。
 2. 数量 1台
 3. 型式 急閉式
 4. 口径 $\Phi 150$
 5. フランジ規格 10K
 6. 主要部材質 本体 FC 同等品以上
要部材質 SCS 同等品以上
 7. その他 ナイロンライニングあり

- 第8条 辰口寺井工業用水第二 7号取水ポンプ逆止弁更新
1. 概要 経年劣化した逆止弁を次のとおり更新する。
 2. 数量 1台
 3. 型式 急閉式
 4. 口径 $\Phi 150$
 5. フランジ規格 10K
 6. 主要部材質 本体 FC 同等品以上
要部材質 SCS 同等品以上
 7. その他 ナイロンライニングあり

第 3 章

電 気 設 備 更 新 工 事

第1節 概 要

第1条 概 要

制御機器及び計装機器等の経年劣化により、既設機器の更新・取替等を行なうもので現場作業にあたっては、工業用水道の供給に支障なきよう十分考慮し、施工に当たること。

第2条 工事項目

(1) 根上福島工業用水管理センター	1号インバータ更新
(2) 辰口寺井工業用水第一 3号水源	水源水位計更新
(3) 辰口寺井工業用水第一 4号水源	取水流量計更新
(4) 辰口寺井工業用水第一 9号水源	取水ポンプ盤更新
(5) 辰口寺井工業用水第一 10号水源	取水ポンプ盤更新
(6) 辰口寺井工業用水第二 7号水源	取水流量計更新
(7) 辰口寺井工業用水第二 9号水源	水源水位計更新
(8) 辰口寺井工業用水第三管理センター	配水温度計更新
(9) 辰口寺井工業用水第三管理センター	配水圧力計更新

第2節 機器等仕様

第1条 根上福島工業用水管理センター 配水ポンプ用インバータ更新

- | | | | |
|--------|-------------------------------|--------------|---|
| 1. 概要 | 経年劣化した1号配水ポンプ用インバータを次の通り更新する。 | | |
| 2. 数量 | 1組 | | |
| 3. 仕様 | 制御方式 | 線間正弦波変調PWM方式 | |
| | モータ容量 | 440V 75kW | |
| | 定格電流 | 180A（参考値） | |
| | その他 | メーカー標準 | |
| 4. その他 | 現地調査、取替、試運転調整 | 1 | 式 |
| | 撤去品処分 | 1 | 式 |

第2条 辰口寺井工業用水第一 3号水源 水源水位計更新

- | | | | |
|----------|----------------------|------|---------------|
| 1. 概要 | 経年劣化した3号水源の水位計を更新する。 | | |
| 2. 数量 | 1式 | | |
| 3. 交換部品 | 水位伝送器（投込式） | 1 | 台 |
| | 水位変換器 | 1 | 個 |
| | 避雷器 | 1 | 式 |
| | その他必要なもの | 1 | 式 |
| 4. 機器の仕様 | 水位伝送器 | 測定範囲 | -50～0m |
| | | 出力信号 | DC4～20mA |
| | | 電源電圧 | 変換器より供給 |
| | 水位変換器 | 電源電圧 | メーカー標準 |
| | | 出力信号 | DC4～20mA |
| | | 取付け | 制御盤内 |
| | 避雷器 | 用途 | 2線式伝送回路（信号回路） |
| | | 取付け | 制御盤内 |
| 5. その他 | 現地調査、取替、試運転調整 | 1 | 式 |
| | 撤去品処分 | 1 | 式 |

第3条 辰口寺井工業用水第一 4号水源 水源取水流量計更新

- | | | | |
|---------|------------------------|-------------|-----|
| 1. 概要 | 経年劣化した4号水源の取水流量計を更新する。 | | |
| 2. 数量 | 1組 | | |
| 3. 交換部品 | 流量検出器 | 電磁式φ150 防浸型 | 1 台 |
| | 変換器分離形 | | |
| | 流量変換器 | | 1 個 |
| | 避雷器 | | 1 式 |
| | 接続単管（フランジ付） | | 1 組 |

	その他必要なもの	1 式
4. 機器の仕様	測定範囲 0～250m ³ /h 測定流体 工水 Φ150 電磁式 フランジ型、防浸タイプ 発信器：変換器分離形 変換器：電流出力（4-20mA）、デジタル出力 1 点 避雷器：流量計用避雷器（制御盤内 1 個）	
5. その他	現地調査、取替、試運転調整	1 式
	撤去品処分	1 式

第 4 条 辰口寺井工業用水第一 9 号水源 取水ポンプ盤更新

1. 概要	経年劣化した 9 号水源の取水ポンプ盤を更新する。		
2. 数量	1 面		
3. 形式	屋内閉鎖自立形		
4. 概略寸法	幅 1,000×高 1,900+50×奥行 600(mm)		
5. 盤面取付器具	名称銘板		1 式
	交流電圧計		1 個
	交流電流計		1 個
	広角度指示計	取水流量（計装ループ品）	1 個
	広角度指示計	取水井水位（計装ループ品）	1 個
	電圧計切換器		1 個
	電流計切換器		1 個
	稼働時間計		1 個
	積算カウンタ	取水流量（計装ループ品）	1 個
	操作開閉器	「停止－運転」	1 個
	操作切換器	「現場－中央」	1 個
	押釦開閉器	「ランプテスト」「表示復帰」	2 個
6. 盤内取付器具	配線用遮断器		1 式
	漏電遮断器		1 式
	避雷器	低圧用 60A	3 個
	電磁接触器	3 極単投（30kW 主幹、Y 用、Δ 用）	1 式
	コンデンサ	100 μ F	1 個
	3 E 継電器		1 個
	計器用変流器	75/5A	2 個
	計器用変圧器	440/110V	1 個
	変圧器	440/210V	1 個
	変圧器	440/105V 500VA 耐雷型	1 個
	変圧器	440/210-105V 1kVA	1 個
	補助継電器		1 式
	限時継電器		1 式
	内部照明、ドアスイッチ		1 式
	内部配線及び端子台		1 式

光成端箱	1 個
光メディアコンバータ	1 式
その他必要なもの	1 式
※信号伝送装置子局は既設盤から移設とする	
※盤内計装機器は既設盤から移設とする	
(信号用避雷器、水位変換器、流量変換器、 警報設定器)	

第 5 条 辰口寺井工業用水第一 10 号水源 取水ポンプ盤更新

1. 概要	経年劣化した 10 号水源の取水ポンプ盤を更新する。		
2. 数量	1 面		
3. 形式	屋内閉鎖自立形		
4. 概略寸法	幅 1,000×高 1,900+50×奥行 600(mm)		
5. 盤面取付器具	名称銘板		1 式
	交流電圧計		1 個
	交流電流計		1 個
	広角度指示計	取水流量 (計装ループ品)	1 個
	広角度指示計	取水井水位 (計装ループ品)	1 個
	電圧計切換器		1 個
	電流計切換器		1 個
	稼働時間計		1 個
	積算カウンタ	取水流量 (計装ループ品)	1 個
	操作開閉器	「停止－運転」	1 個
	操作切換器	「現場－中央」	1 個
	押釦開閉器	「ランプテスト」「表示復帰」	2 個
6. 盤内取付器具	配線用遮断器		1 式
	漏電遮断器		1 式
	避雷器	低圧用 60A	3 個
	電磁接触器	3 極単投 (30kW 主幹、Y 用、Δ 用)	1 式
	コンデンサ	100 μF	1 個
	3 E 継電器		1 個
	計器用変流器	75/5A	2 個
	計器用変圧器	440/110V	1 個
	変圧器	440/210V	1 個
	変圧器	440/105V 500VA 耐雷型	1 個
	変圧器	440/210-105V 1kVA	1 個
	補助継電器		1 式
	限時継電器		1 式
	内部照明、ドアスイッチ		1 式
	内部配線及び端子台		1 式
	光成端箱		1 個
	光メディアコンバータ		1 式
	その他必要なもの		1 式

※信号伝送装置子局は既設盤から移設とする
 ※盤内計装機器は既設盤から移設とする
 (信号用避雷器、水位変換器、流量変換器、
 警報設定器)

第6条 辰口寺井工業用水第二 7号水源 水源取水流量計更新

1. 概要	経年劣化した7号水源の取水流量計を更新する。		
2. 数量	1組		
3. 交換部品	流量検出器 電磁式φ100 防浸型		1 台
	変換器分離形		
	流量変換器		1 個
	避雷器		1 式
	接続単管(フランジ付)		1 組
4. 機器の仕様	その他必要なもの		1 式
	測定範囲	0～180m ³ /h	
	測定流体	工水	
	Φ100 電磁式 フランジ型、防浸タイプ 発信器	変換器分離形	
	変換器	電流出力(4-20mA)、デジタル出力1点	
5. その他	避雷器	流量計用避雷器(制御盤内1個)	
	現地調査、取替、試運転調整		1 式
	撤去品処分		1 式

第7条 辰口寺井工業用水第二 9号水源 水源水位計更新

1. 概要	経年劣化した9号水源の水位計を更新する。		
2. 数量	1式		
3. 交換部品	水位伝送器(投込式)		1 台
	水位変換器		1 個
	避雷器		1 式
	その他必要なもの		1 式
4. 機器の仕様	水位伝送器	測定範囲	-40～0m
		出力信号	DC4～20mA
		電源電圧	変換器より供給
	水位変換器	電源電圧	メーカー標準
		出力信号	DC4～20mA
		取付け	制御盤内
	避雷器	用途	2線式伝送回路(信号回路)
		取付け	制御盤内
5. その他	現地調査、取替、試運転調整		1 式
	撤去品処分		1 式

第8条	辰口寺井工業用水道第三 管理センター	配水温度計更新	
1. 概要	経年劣化した配水温度計を更新する。		
2. 数量	1組		
3. 交換部品	測温抵抗体		1 台
	温度変換器		1 個
	その他必要なもの		1 式
4. 機器の仕様	測温抵抗体	測定範囲	既設に準ずる
			JIS 規格白金測温抵抗体
			Pt100
		取付け	水質計器に取付け
	温度変換器	電源電圧	メーカー標準
		入力	JIS 規格白金測温抵抗体
		出力信号	DC4～20mA
		取付け	制御盤内
5. その他	現地調査、取替、試運転調整		1 式
	撤去品処分		1 式

第9条	辰口寺井工業用水道第三 管理センター	配水圧力計更新	
1. 概要	経年劣化した配水圧力計を更新する。		
2. 数量	1組		
3. 交換部品	圧力伝送器		1 台
	圧力変換器		1 個
	避雷器		1 組
	その他必要なもの		1 式
4. 機器の仕様	圧力伝送器	測定範囲	既設に準ずる
		出力信号	DC4～20mA
		電源電圧	変換器より供給
		材質	本体(SUS316L)
		取付け	ポール取付け
	圧力変換器	電源電圧	メーカー標準
		入力信号	DC4～20mA
		出力信号	DC4～20mA
		取付け	制御盤内
	避雷器	用途	2線式伝送回路(信号回路)
		取付け	制御盤内
5. その他	現地調査、取替、試運転調整		1 式
	撤去品処分		1 式

石川県土木工事特記仕様書〔共通編〕

当該工事の対象は、○印の項目とする。

令和7年7月1日適用

対象

- 1 検査指定材料 (約款第13条第2項)
- 2 見本資料指定材料 (共通仕様書第2編第1章第2節第4項)
- 3 資料指定工種 ~~—(共通仕様書3-1-1-3第2項)—~~
- 4 段階確認指定工種 ~~—(共通仕様書3-1-1-3第6項)—~~
- 5 立会い指定材料及び工種 (約款第14条第1項及び2項)
- 6 中間検査 ~~—(共通仕様書1-1-1-24第8項)—~~
- 7 安全管理
- 8 施工条件明示
- 9 再生資源（利用及び利用促進）計画書及び実績表（共通仕様書1-1-1-20）
- 10 使用機械
- 11 廃棄物処理及び清掃に関する法律による管理表（マニフェスト）制度
(共通仕様書1-1-1-20第2項)
- 12 ~~コンクリート構造物の品質確保~~
- 13 電子納品・情報共有システムの対象
- 14 ~~工事における創意工夫等の実施状況や総合評価方式における技術提案の履行状況~~
- 15 建設リサイクル法の対象
- 16 ~~自主施工工事の対象~~
- 17 ~~ＩＣＴ施工工事の対象~~
- 18 いしかわ週休２日工事の対象 発注方式：【発注者指定型（現場閉所）】
- 19 ~~余裕期間制度（フレックス方式）試行工事の対象~~
- 20 ウィークリースタンス等の推進
- 21 ~~その他~~
- 22 ~~「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」および、
「遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更」の対象工事
※運用基準は県のHP「<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/kiyun.html>」を参照~~
- 23 災害復旧工事における現場環境改善費及び快適トイレの対象
※運用基準は県のHP「https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/r7/genbakannkyoukaizen_saigai.html」

・本工事は、本特記仕様書〔共通編〕および「石川県土木工事共通仕様書」により施工すること。
・作成する書類については、発注者より特別な指示のない限り「石川県土木工事様式」及び「石川県土木工事施工管理基準」に基づき作成すること。

1 検 査 指 定 材 料 (約款第13条第2項)

区 分	印	材 料 検 査 の 対 象 と な る も の
1. 不可視部分の材料		(1) 基礎工 (木杭、鋼杭、プレキャストコンクリート杭)
		(2) 矢板類 (木矢板、鋼矢板、コンクリート矢板、PC矢板)
		(3) 胴木類 (胴木、鉄筋コンクリート胴木)
		(4) 管 類 (鋼管、コルゲートパイプ、鉄筋コンクリート管、 铸铁管、合成樹脂製管類、消雪パイプ)
		(5) 暗渠類 (プレキャストボックス)
		(6) 鉄筋類 (普通丸鋼、異形棒鋼)
		(7) 目地類 (止水板、目地板、タイバー、スリップバー、 チェアクロスバー)
		(8) 形鋼類 (トンネルの支保工材、基礎杭の補強材)
		(9) 網 類 (法面吹付等及び舗装用金網)
		(10) シート類 (河川海岸用の吸出し防止材、路盤紙)
		(11) アンカー類 (アンカーボルト、ロックボルト、タイロッド、 アンカーケーブル、定着材料)
		(12) マンホール類 (人孔用斜壁及び直壁)
		(13) 土壌改良材 (タンカル等の他肥料を含む)
		(14) 地盤改良材 (セメント系等)
		(15) 基盤材・種子類 (法面緑化)
2. 重要構造物の材料		(1) 橋梁類 (鋼橋及びP C 橋の材料)
		(2) 落石及び 防雪柵類 (落石防止柵、スノーシェッド、なだれ防止柵、 スノーシェルター)
		(3) 水門類 (ゲートの材料)
		(4) ポンプ及び原動機類
3. その他の材料	○	特に監督員が必要と認めるもの。

(注) 指定材料は、○印とする。

2 見 本 資 料 指 定 材 料（共通仕様書第2編第1章第2節第4項）

JISマーク表示品については、製品にJISマークが表示されていることが分かる写真等を監督員に提示することで、見本または品質を証明する資料の提出を省略できる。

区 分	印	見 本 又 は 資 料 提 出 の 対 象 と な る 材 料
1. 見 本		(1) 塗 料 (鋼橋、水門、鋼矢板、コンクリート面、落石・なだれ防止柵、スノーシェッド各塗装)
		(2) 捨 石 (港湾、海岸及び河川)
		(3) そ の 他 ()
2. 資 料 (検査指定材料以外のもの)		(1) コンクリート二次製品 ()
		(2) 形 鋼 類 ()
		(3) リサイクル製品 ()
		(4) リサイクル認定製品 ()
	○	(5) そ の 他 (材料すべて)
3. その他の材料		(1) レディーミクストコンクリート（共通仕様書1-3-3-2）
		JISマーク表示認証製品を製造していない工場で製造する場合は、 配合計画書及び基礎資料を提出 ※上記以外は、省略可
		(2) アスファルト混合物（次のうちいずれかを提出すること）
		・アスファルト混合物事前審査認定書（写） ・配合設計・試験練り結果報告書 ・実績または定期試験による配合設計・試験練り結果報告書 (小規模工事：500t未満あるいは2,000m ² 未満)

(注) 指定材料は、○印とする。

3 資 料 指 定 工 種（共通仕様書3-1-1-3第2項）

区 分	印	資 料 事 前 提 出 の 対 象 と な る 工 種
1. 資料の事前提出		(1) トンネル (両坑口間の基準点、中心線測量結果)
		(2) P C 橋 (下部工の橋座高、支承間距離測定結果)
		(3) 鋼 橋 (下部工の橋座高、支承間距離測定結果)
		(4) 道路維持 (路面切削計画図)
		(5) 薬液注入 (事前調査)
2. そ の 他		

(注) 指定工種は、○印とする。

5 立 会 い 指 定 材 料 及 び 工 種 (約款第14条第1項及び2項)

区 分	印	立会いのうえ調査又は施工すべきものと 指定した材料及び工種	立会いの頻度
1. 立会いのうえ 調査すべき もの		(1) コンクリート吹付、モルタル吹付、客土吹付材料	
		(2) その他 ()	
2. 立会いのうえ 施工すべき もの		(1) 重要構造物の基礎及び床掘の基準高	
		(2) 基礎杭の支持層到達時	試験資料採取時 (3本)
		(3) 井筒を沈下させる時	
		(4) P C桁の緊張時	
		(5) コンクリートダムの冷却管内のセメントミルク充填	
		(6) 方塊、異形ブロック、被覆石の据付け及び捨石の投入	
		(7) 港湾工事の法線測量	
		(8) 推進工、シールド工の着工時	
		(9) 薬液注入の現場注入試験	
		(10) 土質試験資料採取時	
		(11) P C橋梁のシーす内のグラウト施工時	
		(12) アンカー工法の適正、限界試験時	
	○	(13) その他 (特に監督員が必要とするとき)	

(注) 指定材料及び工種は、○印とする。立会の頻度は、工事内容・現場状況に応じ明示する。

7 安全管理

- 1 受注者は、安全管理のための自主点検を実施するものとする。
- 2 自主点検の結果は点検書に記載し、保管するものとする。
- 3 受注者は、土石流の到達する恐れのある指定現場において、土石流に対する安全対策として監視員1名を設置し、流域状況の点検及び記録整理を実施するものとする。

4 安全訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に則した安全訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割当て下記の項目から実施内容を選択し、安全訓練を実施するものとする。

- (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- (2) この工事内容等の周知徹底
- (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
- (4) この工事における災害対策訓練
- (5) この工事現場で予想される事故対策
- (6) その他、安全訓練等として必要な事項

また、土石流の到達する恐れのある指定現場については、関係作業員に対して工事着手後遅滞なく1回、及びその後6ヶ月に1回の避難訓練を実施するものとする。

5 安全訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、この工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

6 安全訓練等及び土石流監視報告書の実施状況報告

安全訓練等及び土石流監視の実施状況報告をビデオ等、または実施状況報告書に記録し、報告するものとする。

7 安全のための適切な臨機の措置

- (1) 気象状況等に関して常時十分な注意を払うこと。
- (2) 作業時に危険を予知した場合等においては、ただちに作業を中止し作業員を安全な場所に退避させること。
- (3) 異常箇所(point)の点検・原因の調査等は、二次災害防止のための応急措置を行った後、十分注意して行うこと。

8 施 工 条 件 明 示

下記明示項目、事項のうち○印該当欄は、工事施工にあたって制約等を受けることになるので留意すること。

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
I 工 程	1 関連する別途発注工事あり ア 工 事 名：（ ） イ 入 札 予 定：（ ） ウ 制 約 工 種：（ ） エ 施 工 可 能 工 種：（ ） オ そ の 他：（ ）	
該 当 ×	2 他機関協議による工程条件あり ア 工 種：（ ） イ 期 間：（ ） 年 月 ～ 年 月 ウ 協 議 機 関 名：（ ） エ 協 議 内 容：（ ）	
	3 その他条件 （ ）	
II 用 地	1 補償物件撤去まで着工制限あり	ア 着工予定 （ ） 年 月 イ 区間 （ No. ） ～ No. （ ）
該 当 ×	対象物件：建 物 （ ） 撤去予定 （ ） 年 月 ：工 作 物 （ ） 撤去予定 （ ） 年 月 ：立 木 （ ） 伐採予定 （ ） 年 月 ：そ の 他 （ ） 撤去予定 （ ） 年 月	
	2 その他条件 （ ）	
III 公害対策	1 施工法の制限あり（条件及び位置については別紙及び位置図参照） ア 騒音 イ 振動 ウ 水質 エ 大気 オ その他（ ） 必要対策：工 場 （ ） 井戸等 （ ） ：学 校 （ ） その他 （ ） ：病 院 （ ）	
該 当 ×	2 その他条件 （ ）	
IV 安全対策	1 鉄道等の近接作業制限あり	ア 工法制限あり イ 作業時間制限あり ウ 列車見張員（配置人員：1 日 名、延べ 名）
該 当 ×	2 発破作業制限あり 対策対象物 （ ）	ア 防護工指定あり イ 作業時間制限あり
	3 交通誘導員 配置人員	交通誘導警備員A：1 日 名、延べ 名 交通誘導警備員B：1 日 名、延べ 名 ※上記交通誘導警備員Aについては、石川県公安委員会が道路における危険を防止するため交通誘導警備が必要と認める区間の工事で、交通誘導警備業務を警備会社に委託する場合の交通誘導検定警備員である。
	4 土石流発生のおそれがある 溪流あり	ア 監視体制の強化が必要 イ その他 （ ）
	5 夜間作業あり （ ）	
	6 その他条件 （ ）	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
V 工事用道路 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 </div>	1 一般道路（搬入路）の使用制限あり	ア 搬入経路指定あり イ 時間帯制限あり
	2 一般道路の占用可能	ア 全面占用可 イ 片側占用可 ウ 時間制限あり
	3 仮設道路の設置条件あり 標識等の配置位置図等は 共通仕様書1-1-1-34による。	ア 一般交通供用あり イ 安全施設必要 ウ 路面工(工種 簡易舗装(標準横断面図)を参照) エ 工事完了後存続 W= m (最低総幅員)
	4 その他条件 ()	
VI 仮 設 備 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 </div>	1 仮設構造物の転用 ()	
	2 仮設構造物の兼用 ()	
	3 その他条件 ()	
VII 建設発生土, 補足土, 産業廃棄物 等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 </div>	受注者は、下記によらず施工する場合は、監督員と協議すること。	
	1 建設発生土	ア 名 称 () イ 所在地 () ウ 引渡し条件 ()
	2 補足土	ア 名 称 () イ 所在地 () ウ 引渡し条件 ()
	3 産業廃棄物	ア コンクリート塊 (処分施設:) イ アスファルト塊 (処分施設:) ウ 木くず (処分施設:) エ その他 (処分施設:)
	4 その他条件 ()	
VIII 工事支障物件 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 該 当 </div>	受注者は、共通仕様書1-1-1-28に基づき、現場着手時に地下埋設物等の事前調査を行うこと	
	1 占用支障物件	ア 電気（電柱、支線、架空線） 移転日 (月 日) イ 電話（地下、電柱、架空線） 移転日 (月 日) ウ 水道（本管、給水管） 移転日 (月 日) エ ガス（本管、引込管） 移転日 (月 日) オ その他 () 移転日 (月 日)
	2 その他条件 ()	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
IX 現場環境改善 (5内容) ・率計上分	1 仮設備関係	ア 用水・電力等の供給設備 イ 緑化・花壇 ウ ライトアップ施設 エ 見学路及び椅子の設置 オ 昇降設備の充実 カ 環境負荷の低減
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em;">×</div>	2 安全関係	ア 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) イ 盗難防止対策 (警報機等)
	3 営繕関係	ア 現場事務所の快適化 イ 労働者宿舍の快適化 ウ デザインボックス (交通誘導警備員待機室) エ 現場休憩所の快適化 オ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
	4 地域とのコミュニケーション	ア 完成予想図 イ 工法説明図 ウ 工事工程表 エ イメージアップ看板 オ デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) カ 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) キ 見学所 (インフォメーションセンター) の設置 及び管理運営 ク パンフレット・工法説明ビデオ ケ 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) コ 社会貢献
	・積上分	①個別積上 内容： 費用：
	②避暑・避寒対策費 (精算時の設計変更対象で積上) 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用 (エアコン、冷水機、冷蔵庫、製氷機、送風機、日よけテントなど) については、対策の妥当性を確認の上、設計変更となる。 現場管理費に計上される作業員個人の費用と重複がないことを確認し、率分で計上される現場環境改善費の50%を上限とする。	
X 快適トイレ	「快適トイレ実施要領」に基づき実施すること。 実施内容および実施した場合の変更については、上記要領を参照すること。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em;">○</div>	1 快適トイレを原則設置すること	
	2 契約後、監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる。	
X I 熱中症補正	「熱中症対策に資する現場管理費の補正の要領」に基づき、熱中症対策に係る現場管理費の補正※を希望する場合は、監督員と協議すること。 ※主に作業員個人に対する熱中症対策 (塩飴、経口保水液等の飲料水、冷却用品、空調服、熱中症対策キットなど)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em;">○</div>	「建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき、遠隔臨場を希望する場合は、監督員と協議すること。	
X III その他	1 現場発生材あり	品名・納入場所 ()
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">該 当</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em;">○</div>	2 支給材あり	品名・納入場所 ()
	3 工事の使用材料は、石川県エコ・リサイクル認定製品を優先的に使用してください。	
	4 工事の使用材料は、能美市内で生産された材料・製品を優先的に使用すること。	
	5 施工地域・工事場所区分	ア 市街地 (DID補正) イ 一般交通影響有 (2車線以上かつ交通量5000台/日以上) ウ 一般交通影響有 (イ以外、常時全面通行止めを含む) エ 山間僻地及び離島
	6 設計図書の照査	土木工事設計図書の照査ガイドライン(案)に基づき実施し、照査項目チェックリストを提出すること。 (土木一式3千万円以上、舗装・造園工事1千万円以上、その他工事1,5千万円以上)
	7 品質証明の対象工事 (共通仕様書第3編3-1-1-5)	
	8 労務補正 (補正内容： 補正工種：)	
	9 契約後VE適用 VE提案を行う場合、以下を参照のうえ、発注者と協議すること https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/vekouji_toriatukaiyouryou.html	
	10 その他条件 ()	

9 再生資源（利用及び利用促進）計画書及び実施書 （共通仕様書1-1-1-20）

- 1 下記の条件に該当するものは、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用実施書」を作成し、監督員の確認をうけ、提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲示するものとする。

（１） 土砂の搬入量が100m³以上の工事。

（２） 砕石の搬入量が250 t 以上の工事。

（３） 加熱アスファルト混合物の搬入量が100 t 以上の工事。

- 2 下記の条件に該当するものは、「再生資源利用促進計画書」、「再生資源利用促進実施書」のうち、監督員の確認をうけ、提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲示するものとする。

（１） 建設発生土の搬出量が100m³以上の工事。

（２） コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の重量が100 t 以上の工事。

（３） その他、建設リサイクル法の対象となる工事

- 3 上記2の「再生資材利用促進実施書」をもって、建設リサイクル法第18条の発注者への報告を兼ねるものとする。

- 4 上記1および2の作成は、最新の建設副産物情報交換システムまたは国土交通省が公開している建設リサイクル報告様式（エクセル様式）によるものとし、電子データで提出するものとする。電子データの提出方法は、建設副産物情報交換システム使用の場合はPDFファイルで、エクセルの使用の場合はエクセルファイルとする。

※平成30年度よりCREDAS入力システムでの提出は不可とする。

なお、再生資源利用（促進）計画書・実施書及び現場掲示用の様式は、下記の石川県土木部監理技術管理室のHPに掲載する様式－4、5を参照すること。

石川県土木部監理課技術管理室ホームページ（土木工事様式）：

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/sinsinyousiki.html>

10 使用機械

1. 本工事において、工事の施工にあたり石川県土木工事共通仕様書1-1-1-34第6項の表1-1-1に示す建設機械を使用する場合は、表1-1-1の下欄に示す建設機械を使用しなければならない。
ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械（共通仕様書 表1-1-1）	
機 種	備 考
<p>一般工事用建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの。</p> <p>油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入・引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。</p> <p>ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p>

2. 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス対策装置を使用する場合の確認方法等
 - 1) 施工計画書への記載
施工計画書の指定機械項目に
 - ①機械名、
 - ②メーカー名、
 - ③形式名、
 - ④台数等を明記すること。

11 廃掃法による管理票（マニフェスト）制度

（共通仕様書1-1-1-20第2項）

●電子マニフェストを使用する場合（石川県では、電子マニフェストの導入を推進）

電子マニフェストにより報告した内容を確認出来る書類（受渡確認表など）を提示するものとする。

●紙マニフェストを使用する場合

建設副産物の適正処理を確認するため、紙マニフェストの処分終了票（E票）を完成検査時に提示するものとする。

ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合は、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。

この場合、受注者は紙マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票を提示しなければならない。

また、最終処分終了後すみやかにE票を提示しなければならない。

1 対象となる廃棄物

- （1）燃え殻
- （2）汚泥 ※
- （3）廃油
- （4）廃酸
- （5）廃アルカリ
- （6）廃プラスチック類
- （7）紙くず
- （8）木くず
- （9）繊維くず
- （10）動植物性残渣
- （11）ゴムくず
- （12）金属くず
- （13）ガラス及び陶磁器くず
- （14）鉱さい
- （15）がれき類
- （16）動物のふん尿
- （17）動物の死体
- （18）ばいじん
- （19）産業廃棄物を処分するために処理したもので、（1）～（18）に該当しないもの

※ 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。なお、排水処理費及び運搬費については契約変更の対象とする。

13 電子納品・情報共有システムの対象

本工事は、電子納品及び情報共有システムの対象工事である。

(電子納品について)

- 1 工事完成図書を電子データで納品する時の各種基準は、国土交通省並びに農林水産省の各種電子納品要領等及び石川県電子納品ガイドライン等で定めるファイルフォーマットに基づいて作成するものとする。
- 2 実施内容は以下のとおりとする。
 - 1) 別紙に示す工事関係書類の最終成果を、CD-RまたはDVD-R等で2部納品する。
なお、電子納品した工事関係書類については、紙で提出する必要はない。
 - 2) 別紙に記載がない項目については、監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。
- 3 工事着手時には、石川県電子納品ガイドラインで定める「事前協議チェックシート」を用いて事前協議を行うものとする。
入手先：石川県ホームページ 電子納品
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/cals-ec/e_delivery.html
- 4 発注者が行う電子納品アンケート等の調査に協力する。
- 5 工事完成図書の納品に際し、以下の事項を事前に確認する。
 - 1) 電子納品チェックシステムによるチェックを行いエラーがないことを確認する。
入手先：電子納品チェックシステム（土木）
http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/
※電子納品チェックシステムの最新バージョンを使用すること
 - 2) 最新のウイルス対策ソフトで、成果品にウイルスが混入していないことを確認する。
- 6 原本性を確保するため、電子媒体はCD-RまたはDVD-R等を使用することとする。

(情報共有システムについて)

- 1 情報共有システムの使用にあたっては、本県で使用する情報共有システムの機能や条件を定めた「石川県情報共有システム機能仕様書」を熟読し、「事前協議チェックシート」にて監督員と協議のうえ利用すること。
- 2 現場にインターネット環境が整っていないなど、当システムの使用が困難な場合、「事前協議チェックシート」にて監督員と協議し、その理由が適正であるときは、システムを使用しないことを認めることができる。

3 実施内容は以下のとおりとする。

- ① 受発注者間の書類の受け渡し
- ② 決裁
- ③ 承認、指示、承諾
- ④ 確認、検査 等

以上の行為を行う、または、受ける際、通常的手段（紙の書類の受け渡しや印鑑による決裁等）に代えてシステムを使用する。

4 監督員が指示するシステムの使用状況や結果に関する調査等に協力する。

5 本工事に使用するパソコンは、常に以下の状態を保たなければならない。

- 1) 最新のウイルス対策ソフトを導入する。
- 2) OS、ブラウザ及びメールソフトに最新のセキュリティパッチを適用する。
- 3) ウィニー等のファイル交換ソフトを導入しない。

18 いしかわ週休2日工事

・週休2日工事(現場閉所)の対象

本工事は、建設現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」の対象工事である。

週休2日工事(現場閉所)は、原則、工事着手日から工事完了日において、月単位の週休2日(4週8休相当)の現場閉所を確保することとする。

実施にあたっては、いしかわ週休2日工事実施要領及び細則の規定に基づき実施すること。

■週休2日工事(現場閉所)

- (1) 当初設計において月単位の週休2日(4週8休相当)に係る補正係数を乗じている。
- (2) 災害復旧工事(港湾・営繕・機械設備工事を除く)の受注者は、週休2日工事(交替制)への変更を希望する場合は、現場着手前に、週休2日工事(交替制)変更協議書(様式2)にて監督員と協議すること。
なお、週休2日工事(交替制)の費用計上にあたっては、達成状況を確認の上、達成状況に応じた補正係数に変更するものとする。
- (3) 受注者は、現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板(参考図参照)を設置すること。
- (4) 受注者は、現場着手前に対応する週休2日の休日取得[計画]表を作成し、監督員に提出・共有すること。
- (5) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は、対応する休日取得[計画]表を修正し、監督員に提出・共有すること。
- (6) 受注者は、工期最終日までに、対応する休日取得[実績]表を記入し、監督員に提出のうえ確認を受けること。
監督員が休日取得[実績]表により現場閉所の達成状況を確認し、月単位の週休2日(4週8休相当)に満たない場合は、通期の週休2日(4週8休相当)の補正に減額するものとし、通期の週休2日(4週8休相当)に満たない場合は、補正分を減額変更する。

■工事看板参考図

(イ) ご協力をお願いします	
(ロ) ○○○○○○を なおしています	
(ハ) 令和 ○年 ○月 ○日まで 時間帯 0:00 ~ 0:00	
(ニ) ○○○○○○工事	
発注者	石川県○○○○事務所 電話番号 000-000-000
施工者	○○○○建設株式会社 電話番号 000-000-000
この工事は、週休2日工事です	
	ようこそ石川県へ! Welcome to Ishikawa! 歓迎光臨石川県!
	

20 ウィークリースタンス等の推進

本工事は、建設業の働き方改革を推進するため、受発注者協力のもとウィークリースタンス等に取り組むこととする。なお、工事着手前に受発注者間で下記事項について協議のうえ実施し、就業環境の改善に努めること。

＜発注者の取組＞

- 受注者からの質問や協議に対する回答については、基本的に「その日のうち」に回答すること。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に行うこと。
- 「月曜日の朝一番」及び「各建設会社のノー残業デー翌日の朝一番」を期限とした作業を指示しないこと。
- 「金曜日の作業依頼」や「昼休み・定時間際・定時後の作業依頼や打合せ」は控えること。

＜受注者の取組＞

- 工事着手前に工程管理方法について綿密に検討のうえ、作業間の関連や工事の進捗状況を常に把握すること。
- 工事実施中において問題が発生した場合は、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督職員と書面で協議すること。

能美市情報共有システム機能仕様書

(目的)

第1条 能美市では、情報共有システム(以下、システム)運用にあたり、システムに悪い影響を与えず、円滑かつ適正な情報共有を計る必要がある。

このため、「能美市情報共有システム機能仕様書」(以下、「本仕様書」という。)では、システムに必要な機能や条件を定め、適正なシステムの運用を図ることを目的とする。

(適用範囲)

第2条 本工事は、電子納品及び情報共有システム対象工事であり、本仕様書は、能美市が採用する情報共有システムに適用する。

(システム適用条件)

第3条 システムはインターネットを介して受発注者が利用でき、次のすべての条件を満たしたASP(Application Service Provider)方式で提供されるものとする。

- 1) 利用する情報共有システムにおいて推奨されるオペレーティングシステム(windows など)の種類及びバージョンなどを確認し、受発注者の環境で利用できるか事前に確認すること。
- 2) システムの入出力などは、すべて日本語で利用できること。
- 3) 能美市が公開している土木工事様式集は、Web ブラウザを使用し、インターネット経由で入出力できること。
- 4) 運用を開始する際、特別な補助プログラムを用いずに使用できること。
- 5) システム操作時の反応速度が、適切であること。
- 6) 機能を追加することに要する費用はシステム提供者(ベンダー)が負担すること。
- 7) システム(サーバ等含む)の不具合により、データが消失等した場合は、システムの提供者(ベンダー)が補償すること。ただし、天災地変、騒乱及び未確認のサイバー攻撃等の不可抗力を除く。
- 8) システムを使用する場合に発生する使用料は、受注者が負担すること。
- 9) システムの円滑な運用のため、システムの提供者(ベンダー)が教育・訓練などのサポートを実施すること。また、利用方法に関する問い合わせを行うサポート窓口を設置すること。
- 10) 他の公共団体において1年以上の使用実績を有するものであること。

(システムの機能)

第4条 システムは、以下のすべての機能を満たすものとする。

■ユーザ機能		
基本データ登録機能		
	工事情報登録機能	工事完成図書の電子納品要領（以下、要領という。）で指定されている「工事情報（工事件名等）」、「場所情報」、「施設情報」、「発注者情報」、「受注者情報」などを登録できること。また、登録した情報を参照、変更、削除する。
ユーザ基本情報登録機能		
	受発注者情報登録機能	発注機関情報、受注企業情報を登録できること。また、登録された情報の参照、変更、削除できること。（発注機関情報の登録はシステム提供者による登録も可）
	利用者情報登録機能	該当工事案件について本システムを使用する利用者のID、氏名、職位、役職、企業名称、所属、連絡先、メールアドレス等を登録できること。また、登録された情報の参照、変更、削除ができること。
工事関係書類作成支援機能		
	工事関係書類作成機能	受発注者が提出・提示する工事打合せ簿、段階確認願、立会確認願、材料検査願、および電子納品対象になっている書類に記載される情報の登録・参照・削除ができること。ただし、削除の場合は削除履歴とともに登録した情報を保持すること。また、上記以外の帳票を添付ファイルとして登録（添付）、削除ができること。
	標準帳票ダウンロード機能	独自様式の工事請負関係図書をオリジナルファイル形式でダウンロードする。（標準帳票は能美市ホームページからダウンロードできるため、リンクをはることで可）
	工事関係書類決裁機能	受発注者が提出・提示する書類に対して、予め設定した決裁者が決裁処理できること。また、登録されたコメントを確認できること。
	コメント追加機能	作成された書類に対して、決裁者が所見や意見等のコメントを登録できること。また、登録されたコメントを確認できること。
	決裁経路設定機能	起案者及び決裁者が、書類の決裁処理で運用する決裁経路を設定できること。また、書類の回付中に決裁経路を変更できること。
	決裁状況管理機能	回付中及び決裁後に、書類の決裁状況が確認できること。また、利用者が決裁すべき書類が一覧で表示できること。
	書類引用機能	過去に作成した書類（鑑）を引用し、新たに書類が作成できること。
工事関係書類管理機能		
	工事関係書類表示機能	システムに登録された書類を画面上に表示および出力（印刷またはファイル出力）できること。また、添付ファイルとして登録されたデータがシステムからダウンロードできること。
	PDF変換機能	システムに登録された書類をPDF形式のファイルに変換し出力できること。ただし、添付ファイルとして登録されたデータは除く。

電子納品支援機能		
	電子納品データ（帳票）作成支援機能	システムに登録された書類や添付ファイルから、要領に則った電子納品データがシステム上で作成できること。また、作成された電子納品データを、利用者がダウンロードできること。システムのチェック機能により禁則文字などの使用等、要領に則っていない場合には警告すること。
	電子納品データ（図面）作成支援機能	クライアントパソコンで図面管理情報の整理及び電子納品データの作成ができる機能が無償で提供すること。図面管理情報チェック機能により、禁則文字などの使用等、要領に則っていない場合には警告すること。
	電子納品データ（工事写真）作成支援機能	クライアントパソコンで写真管理情報の整理及び電子納品データの作成ができる機能が無償で提供すること。図面管理情報チェック機能により、禁則文字などの使用等、要領に則っていない場合には警告すること。
	電子納品データ作成支援機能	情報共有システムからダウンロードした電子納品データ（帳票）とクライアントパソコンで作成した電子納品データ（図面）及び電子納品データ（工事写真）をクライアントパソコンで統合して、能美市電子納品の手引きに準拠した納品データを作成する機能が無償で提供すること。 ※受注者がすでに利用している工事写真ツール等のアプリケーションも利用できるよう、それらで作成したデータも統合できるような仕様とすること。
納品データ保持機能		
	登録データロック機能	電子納品データ作成後に、システムに登録した情報の改変防止のため書類や添付ファイルの登録、変更、削除ができないようロックができること。
電子ファイル共有機能		
	ファイル共有機能	受発注者が提出・提示する工事関係書類とは別に、工事に関する様々なファイルを登録できること。また、登録したファイルは工事関係者間で共有でき、所見や意見等のコメントが追加できること。
■システム管理機能		
パスワード管理機能		
	パスワード変更機能	利用者による自身のパスワードが変更できること。
	パスワード有効管理機能	パスワードに有効期限を設定できること。また、有効期限間近に利用者へパスワード変更の依頼通知を行うこと。
アクセス履歴管理機能		
	ログ情報記録機能	利用者によるシステムのアクセス履歴をログに記録すること。
	ログ情報参照機能	システム提供者が、利用者や利用日時などを指定して該当するログ情報を画面上に表示またはファイルに出力できること。
	不正アクセス通知機能	不正アクセスを検知した場合に、システム提供者に通知できること。
■システムの制限等		
利用者数の制限		
	当該工事案件について決裁者を除きシステムを使用する利用者数に制限を設けないこと。また、利用者数を増やす際に追加の費用が不要であること。	
登録データ総量の制限		
	登録できるデータ総量に制限を設けないこと。また、登録できるデータ総量を増加させる際に追加の費用が不要であること。	

附則

本仕様書は、令和3年6月1日から施行する。

提出書類一覧（情報共有システム工事対応版）

R5. 7. 1～

名 称	代理人 ﾏﾈｼﾞｱ	監督員 ﾏﾈｼﾞｱ	情報共有システム使用の有無			検査時 提示のみ	フォルダ	備考	摘要
			無	有					
			従来納品 (紙)	従来納品 (紙)	電子納品				
工事工程表・変更工程表			○	○	—	—			約款第3条 締結の7日以内
施工計画書			○	—	○	—	PLAN/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-4 請負額1千万円以上
工事用カルテ（CORINS）			—	—	—	○		受注時・変更時・完成時 （契約後10日以内）	共通仕様書第1編1-1-1-5 請負額5,000千円以上
施工体制台帳・施工体系図			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-10 下請負契約有りの場合
再生資源（利用、利用促進）計画書・実績表			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-18
工事打合せ簿			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第10条 共通仕様書第1編1-1-1-2
材料検査願			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第14条 特記で指定されている項目
見本資料指定材料確認願			○	○ （一部）	○	—	MEET/ORG	カタログ、ミルシート等は 紙での提出も可	約款第15条 特記で指定されている項目
立会確認書			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第15条 特記で指定されている項目
段階確認書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第3編3-1-1-4 特記で指定されている項目
中間検査願			○	○	—	—			共通仕様書第1編1-1-1-22
確認願			○	—	○	—	MEET/ORG		約款第19条
調査結果通知書、設計図書訂正・変更通知書			○	○	—	—	MEET/ORG	発注者が作成し、 受注者に渡す	約款第19条、第20条
既済部分検査願			○	○	—	—			約款第38条 部分払いのある場合
仮設交通安全標示施設等自主点検書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-27
安全管理自主点検書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-27
安全・訓練等実施状況報告			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-27
マニフェスト（総括表）			○	—	○	○ （E票）	MEET/ORG	総括表のみ提出 E票は提示のみ	共通仕様書第1編1-1-1-18
品質管理表			○	○ （一部）	○	—	MEET/ORG	カタログ、ミルシート等は 紙での提出も可	共通仕様書第1編1-1-1-21
品質証明員通知書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第3編3-1-1-6（100,000 千円以上）
品質証明書			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第3編3-1-1-6（100,000 千円以上）
コンクリート耐久性向上対策			○	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
出来形管理表・出来形図			○	—	○	—	MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-21
コンクリート構造物の品質管理			○	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
工期延長願			○	○	—	—	MEET/ORG		約款第22条 共通仕様書第1編1-1-1-15
工事中写真			○	—	○	—	PHOTO/PIC		共通仕様書第3編3-1-1-7
完成写真			○	○	○	—	PHOTO/PIC		共通仕様書第3編3-1-1-7
参考図			○	—	○	—	PHOTO/DRA		
建退共掛金収納書 （中小企業退職金共済制度、林業退職共済制度は写）			○	○	—	—			締結後1ヶ月以内
完成図			○	—	○	—	DRAWINGF		共通仕様書第1編1-1-1-20 発注図CADで渡した場合
完成届			○	○	—	—			約款第32条
請求書			○	○	—	—			約款第32条
工事引渡書			○	○	—	—			約款第33条
電子納品成果品CD・DVD-R			—	—	—	—		CD又はDVDを確認	CALS/EC対象工事
創意工夫実施状況			○	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
技術提案履行確認シート			—	—	○	—	MEET/ORG		特記仕様書による
交通誘導員伝票（総括表）			○	—	○	○ （伝票）	MEET/ORG	総括表のみ提出 伝票は提示のみ	